

# 潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

大津島データ 165 世帯  
人口 228 人 男 95 人 女 133 人  
高齢化率 78.9%  
(令和 2 年 9 月 30 日現在)

## 展望台(モニュメント)に登った感想 or 島内散歩シリーズ 1



場 所：馬島たてがみ山  
散 歩 日：9/15(火) 12:00 ~ 13:00  
天 候：晴  
所要時間：約 1 時間(ひたすら歩けば約 40 分)  
歩 数：約 4500 歩  
(平坦換算だと 13000 歩程度)  
消費カロリー：350kcal(ご飯 1 膳大盛)  
結 論：意外と消費をしていないんだな…。  
(記事・登山者：内山 剛)

9 月半ばに展望台に散歩(軽い登山)をしてきました。  
タイミング良く数日前に草刈りがされており見通しが良く登りやすかったです。

運動強度の観点からすると階段は平坦の道を歩く 3 倍の消費効果があり、何より空気の良い自然の中を歩くことは精神衛生上にも良いのでオススメです。



ただ、難点があり、写真の通り階段のバランスが悪いくところがあって、登りにくく特に降りにくいです。

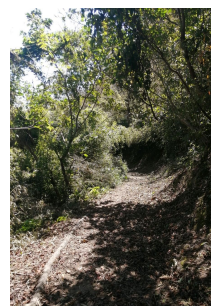
簡単に補修ができるようなレベルでは無かったので、横の坂道を歩くしか無いのですが、笹の上や湿っているとは特に滑るので危険に感じました。  
( 実際何度か滑りかけました )



また、猪跡が複数有。(添付)食べ物が無いのでしょうか。  
あの短い足でよくこの階段を登ったものです。

期待した景色ですが、木が邪魔をして少し残念でしたが、まあ十分でしょうか。

夜登れば徳山湾の工場夜景が綺麗に見えることでしょう。如何ですか？僕は遠慮します。



猪

文川西山 和彦

コロナウィルス感染拡大により本年度のアイランドカップを中止しました。一年に一度、沢山の仲間に出会えることを楽しみにしていましたが、大変申し訳ないと思っています。まだまだ先が見通せんませんが、来年こそは、みんなで集まって、楽しくソフトバレー・打ち上げを開催できるような頑張ります。

実は、今年のアイランドカップ目指して、大津島ソフトバレー倶楽部を立ち上げ、年明けから練習をし、優勝を狙っていたのですが非常に、残念です。今も、毎週水曜日に下松中学校の体育館で他チームと一緒に練習を続けています。

10月11日光の大会に、大津島出身の古城昭彦、櫻井(旧姓高松)美季、巡航の大友翔太、元ディサービスの政元絢子さん、ソフトバレー経験者の藤田さんに協力してもらい、6名で参加してきました。(のほほんポロシャツ全員で揃えて・・・)



結果については感想像にお任せします。・ポロシャツを見て行ったことがあるよ、とか言ってもらったりして、大津島のPRにも貢献してきました。まだまだ未熟ですが、バレー王国大津島の復活を目指して日々精進しています。

よつゝアムリヒ

文川渡邊 あゆ子



最近評判の妖怪がいます。私の大好きな水木しげる大先生の「日本妖怪大全」によると、昔、毎夜海中に光るものが出るというので役人が行ってみると、この絵のようなものが出てきて、「私は海中に棲むアマビエというものである」と名乗り、「当年から六ヶ年の間は諸国豊作である。しかし病気がはやってたら私の写しを早々人々に見せよ」と言い、姿を消したそうです。

息苦しい毎日ですが、みんなで頑張りましょう。「早く来ますよ」



9月13日(日)、大津島小中学校グラウンド(馬島)の草刈りと樹木剪定が行われました。天候にも恵まれ、多くの参加者のおかげで無事終了しました。



文川原田 和保

行事報告



### プチ島マルシェ開催

日 時：令和 2 年 11 月 8 日(日) 10:00 ~ 14:00

会 場：島食堂ひなた周辺

主 催：プチ島マルシェ実行委員会  
(大津島地区コミュニティ推進協議会、若潮の会、磊ノ島)

【主な内容予定】

- ・大津島の若手漁師が、捕れたばかりの活魚を販売
  - ・大津島出身者でつくる若潮の会が、島のイベントで人気の焼きそばや焼き鳥、焼き芋などを販売
  - ・「島食堂ひなた」が監修した島の食材を使用するランチを提供
- ※参加者は当日、チケット 一人 300 円(入場料)

10月6日(火)、大津島ふれあいセンターにてハートフル人権セミナーが開催されました。12名が出席され、クイズ問題・DVD視聴と内容が充実されておりました。

今日の社会において差別問題等色々問題がありますが、お互い声を掛け合い、助け合いが大切と感じさせられました。



## 島に通って感じたこと



文川大津島支所 沖 武士

昨年11月から大津島支所勤務となって早や1年がたちます。最初の3日間はどうい船酔いで、刈尾港に着いた時には足元がふらついて、これからどうなることやらと心配しましたが、すぐに船にも慣れて、今では少しの揺れも楽しめるようになりました。

島に来て最初に驚いたのは島民のみなさんが名字ではなく下の名前で呼びあっていたことでした。しばらくして安達さんや石田さんや古城さんなど同じ名字が多いので下の名前で呼びあう事が理解できましたが、初めのうちは顔と名前が一致せずに一体誰が「まーくん」やら、「ふみちゃん」やら、「よっちゃん」やらさっぱり分かりませんでした。

ただ、名前は分からなくても島民のみなさんがものすごく親切で優しいことは島に通い始めてすぐに感じる事ができました。

1年たった今では出会った島民の方が多いので誰かが大体分かっています。が、全島民が分かるように、いろんな場所から話しかけていこうと思います。

## 令和2年度 回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式実施について

文川馬島待合所 内山 剛

新型コロナウイルス対策に基づき、山口県健康福祉部の指導を得て、回天顕彰会会員でかつ最小必要要員で実施致します。

追悼式参加ご遺族は遠方から来訪される方が多く、高齢者が多数を占めます。

追悼式に参加する為に高齢者が長時間を掛けて公共交通機関を利用して移動することは、感染リスクを増す事に繋がります。また、秋以降は再び患者発生が増加時期に入るとの予測がなされており、冒頭の実施方法にて取り進める事と致しました。

尚、追悼式の様子をWEB会議システムやYouTube等で配信を予定しております。

VIPからの式辞等についても、可能な限り事前にそれぞれの場所式辞奉読を録画して頂き、WEBシステム上で参加者に披露させて頂きます。

実施時期：令和2年11月8日(日)  
場所：大津島回天記念館前  
時間：午前11時前後～  
詳細をお知りになりたい方は内山まで  
(080-1189-8257)

## ★ 探しています ※ふれあいセンター用の冷蔵庫を譲って下さい。

### ◆大津島デイサービスセンターからのお知らせ◆

この度、9月30日付で坂本正志さんが異動となり、デイサービスの職員1名減となりました。また、新しく増員がありましたら、お知らせ致します。 **お世話になりました**

## お知らせ

【次回潮流発行予定日】  
1月1日 第277号

移動図書館 やまびこ号ジュニア  
11月25日(水)、12月26日(土)  
馬島11:30～ 刈尾12:20～

善意銀行へのご寄付ありがとうございます  
▼預託者 匿名 金1万円(大津島社協)

### 【11月～1月の主な島の行事予定】

11月8日(日) プチ島マルシェ  
11月8日(日) 回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式

【編集後記】  
9月に台風が連続で大津島を過ぎ去りました。停電は、避けられましたが爪痕を残しました。台風シーズンも終わりをむかえ、少しでも明るいニュースを待ちわびています。

文責：原田 和保

## 徳山湾見聞録

## 24 島の秋を彩るモミジやハゼノキ

文川回天記念館 三崎 英和

紅葉の季節を迎えると、黒髪島や大津島の山腹に鮮やかに赤く色づいた木々が目立ち始めます。紅葉と言えば、やはりモミジ。回天記念館に向かう途中の養浩館の前に、大きなモミジの木があるのをご存じですか。

記念館で勤務し始めたころ、このモミジが紅葉したら美しいだろうと、その様子を写真に撮ることを決めました。しかし、葉は黄色くはなりませんが、赤く染まることはなく、遂にはそのまま茶色くなって落葉してしまいました。

寒暖の差が少ない島だからと最初は思っていました。が、厳島のモミジは真っ赤に染まることから、島に植えられていることが原因ではなく、その個体の種類や性質ではないかと思っています。

ところで、大津島の山腹を



イラスト 三崎英和

彩る紅葉のほとんどはハゼノキのようです。その多くは人が近づかない場所に生息していることから、鳥が種を運んできたものが大きくなったものでしょうか。

ハゼノキというと、樹液が付くとかぶれてしまうので、普段は近づかないですよ。小学生のころ、恐ろしいほど顔をかぶれさせて登校していた同級生を何度か見ましたが、今どきの小学生にはそんな子供はいないのでしょうか。

ハゼでかぶれた顔は、わんぱくの証でもあった、と最近、真っ赤に染まったハゼノキを見て思うのです。

## 知っちゃうかな

## 島のもん

先日職場の客から、島の者という言葉を聞いて、はたと思っ



文＝松本 千恵子

た事。

ディスプレイしたかも知れんけど、それ位じゃあ島のもんにゃあ恋えりゃあせんよ。昔から島のもんを一段下に見て、町に住んで居るだけで偉そうにする人は飽きる位見てきたからね。島のもんはそこをヤレヤレと優しく見過ごしてきた。

あつ、そんな事はええんよ。島の者と聞いて、島のもんを思った。

祭り？隣組？方言？台風？イヤイヤ、今はイノシシか。イノシシのせいで、島の暮らしもずいぶん変わった。

イノシシに蹂躪され、年齢的な事も考えて、畑仕事を諦めた人も少なくはない。島の山も荒れてしまった。

人口も減って夜の灯りの少なさが悲しくなったりする。

しかし、だからといって、島

を嫌いになりはしない。却って愛しい。だって故郷だもの。こんな思いは町の人には分からないかも知れんけど。

ただ、故郷である島を愛して人達の中には、何とか島を盛り立てようと、会を作って行事や、ボランティアに帰ってくれる島のもんも沢山いる。これは立派な島の財産。

住んでいて黙って草を刈ったり、近所の人達の安全に心を砕いている人も島の財産。

実はただ住んで島の住人である人だって島の財産。これまで、島を支えて奮闘してきてくれた人達だもの。

山も海も花も風も、かけがえない島のもんらあの財産。うちらあ島のもんらあは、ええと(たくさん)財産を持つちようがね。